

## 鳥取空港の収支について

令和5年3月13日  
空港港湾課

空港運営の状況をわかりやすくするために、空港に係る経費を取りまとめた空港収支を作成しましたのでお知らせします。

なお、本県では、予算編成過程の公表を通じて、空港管理費や空港整備費などそれぞれの事業については別途、情報開示をしています。

また、全国の空港においても、運営コストの縮減や効率的な運営、有効活用を推進するために、空港収支が公開されています。

### 令和3年度 鳥取空港 空港収支

(単位:千円)		
項目	金額(県)	金額(運営権者)
<b>歳入 (A)</b>	<b>15,704</b>	<b>516,952</b>
運営交付金収入	0	458,533
着陸料等収入	0	16,749
土地建物等貸付料収入	0	27,399
国庫補助金・交付金等	2,285	0
借入金	0	0
航空機燃料税	13,419	0
諸収入	0	14,271
<b>歳出 (B)</b>	<b>605,636</b>	<b>500,725</b>
空港整備事業費	9,640	0
空港等維持運営費	496,226	500,725
土地建物借料	19,664	0
県有資産所在市町村交付金	23,584	0
借入金償還	56,522	0
<b>歳入－歳出(C) = (A)－(B)</b>	<b>▲ 589,932</b>	<b>16,227</b>

注)

・平成30年度からは、国際線ターミナルも空港収支に含めています。

(運営権者)

・令和3年度は新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種の効果もあり、令和2年度よりも乗降客が増えました。これに伴う収入や受託料収入の増収で営業収入は増加しました。一方、貨物ビルのテナント撤退テナント店舗に対する賃料等の減免等で減少した営業収入については運営交付金の増額の補填で補いました。また、予定していた修繕を令和4年度に変更したことなどによって、僅かながら黒字となりました。

・平成30年7月から、鳥取空港ビル株式会社と鳥取県営鳥取空港特定運営事業等公共施設等運営権実施契約の締結をしたため、鳥取県営鳥取空港特定運営事業の収支状況についても合わせて掲載しています。詳しくは、鳥取空港ビル株式会社ホームページ上の鳥取県営鳥取空港特定運営事業実施計画・実施状況報告をご覧ください。

(鳥取県)

・「空港整備事業費」は、国際ターミナルの防水改修工事 9,640 千円を施工しています。

・「空港等維持運営費」は、運営権者への運営交付金を除く「光熱費」、「事務費修繕工事」などを計上しています。また、鳥取県空港特定運営事業等中間評価委員会を開催し、これに係る経費も計上しています。維持管理費の主な支出は、運営権者に対する「運営交付金」です。